

## ツマグロヒョウモン

ビオラを植えたプランターに、毒々しい毛虫がいました。あなたなら、すぐに退治しますか。私は、毎日観察をつづけました。図鑑でしか見たことのない、美しい蝶の姿を見たかったからです。



この毛虫はツマグロヒョウモンの幼虫。漢字で書くと棲黒豹紋。名前のおり、羽の先が黒い、ヒョウ柄の蝶です。ただし、羽の先が黒いのは雌だけで、雄は単調なヒョウ柄です。雌雄で外見が異なる動物は、たいてい雄のほうが派手なのに、この蝶は逆になっています。

多くの生き物が減少しているなかで、このツマグロヒョウモンは、分布も数も増大しているようです。すこし古い図鑑なら、分布域は西日本以南と書いてありますが、現在は東京でも見られるそうです。もともと南方系の蝶なので、温暖化が追い風になっていると思われます。また、数の増加はその食性に原因がありそうです。〇〇ヒョウモンと名のつく蝶は何種もいて、その幼虫の多くは野生のスマレ類を食草としていますが、園芸品種のパンジーやビオラまで OK というのは、ツマグロヒョウモンだけかもしれません。都会でも生きていけそうですね。

さて、観察をつづけていた幼虫。無事に終齢幼虫になり、しばらくしてプランターから姿を消しました。近所でサナギになっているはずと探したのですが、見つかりませんでした。サナギの姿も楽しみにしていたので、とても残念です。